

第19回 臨床研究推進啓発セミナー

開催日：2018年**6月14日**（木）

時間：18:30～19:30（開場18:15～）

場所：慶應義塾大学医学部 東校舎 2階 講堂

対象：医師・歯科医師、看護師・薬剤師等のメディカルスタッフ、事務職員などの教職員

参加費：無料 ※事前申込不要

主催：慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター

慶應義塾大学病院臨床研究推進センターでは、安全で適正な臨床研究・治験の計画策定ならびに実施に必要な基本知識やコア・コンピテンシーのエッセンスを入門者でも習得していただくべく、「臨床研究推進啓発セミナー」を開講しています。

基礎研究の成果を実用化へ ～橋渡し研究における注意点～

JSR・慶應義塾大学医学化学イノベーションセンター（JKiC）
孤嶋 慎一郎

基礎研究の成果を実用化へ繋げるために必要な研究開発を、橋渡し研究（Translational Research）と呼びます。橋渡し研究のゴールはあくまで実用化であるため、論文発表を目的とした学術研究とは異なる面での注意が必要となります。その中でも、知的財産と開発薬事は重要で、基礎研究の段階から意識しておくことが、よりスムーズな医薬品や医療機器の開発につながります。本セミナーでは、知的財産と開発薬事の制度と重要性について概観し、アカデミアの研究者が特に気を付けるべき点について説明する予定です。

【お問い合わせ】 慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター 教育研修事務局
Mail : keio-edu-tra@adst.keio.ac.jp 内線 : 61930